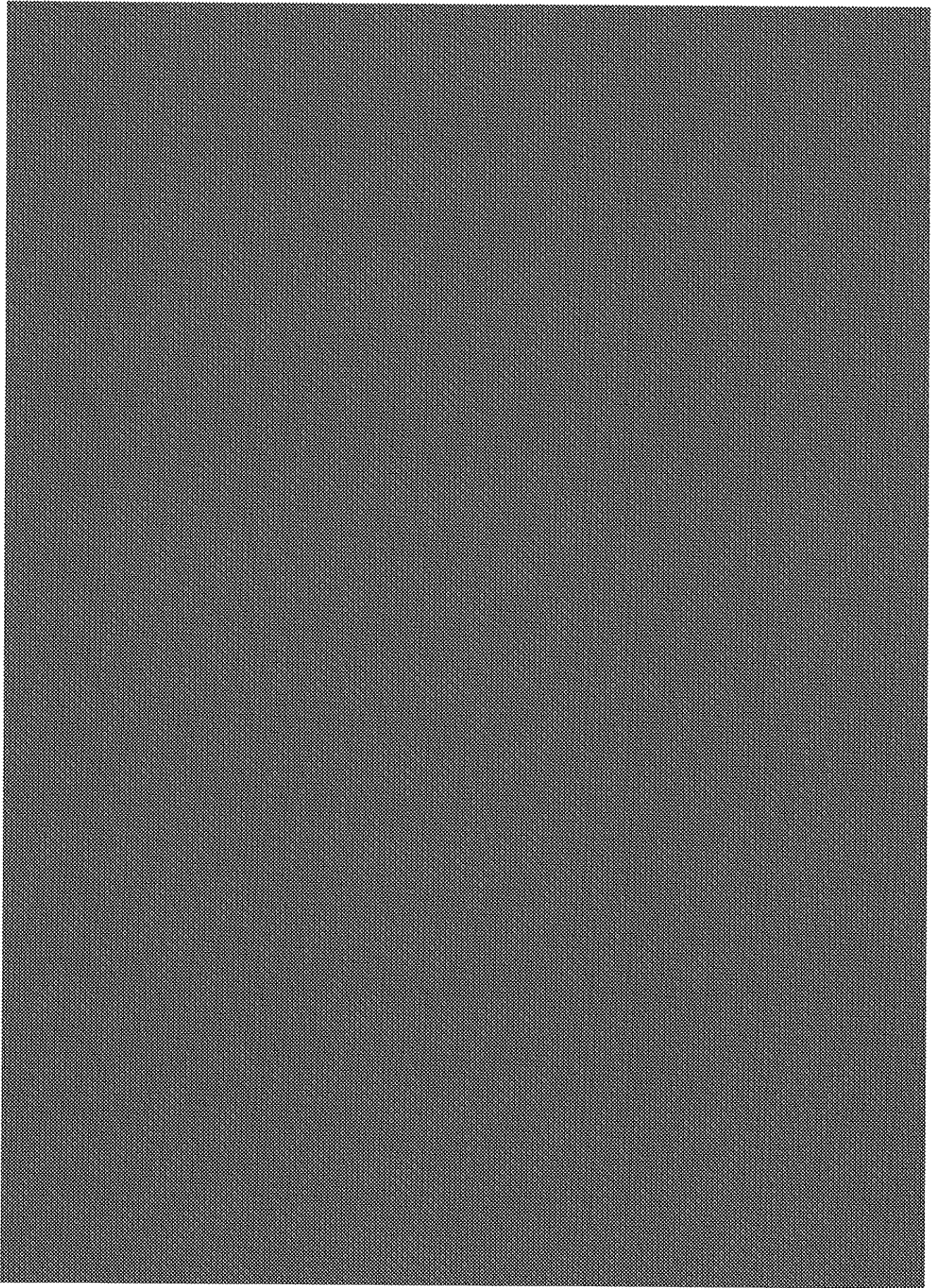


令和8（2026）年度 神奈川県立衛生看護専門学校
看護学科 総合型選抜

【筆記試験】
試験問題

- ・指示があるまでは中を見てはいけません。
- ・答えはすべて答案用紙に記入してください。
- ・問題用紙、答案用紙及びメモ用紙それぞれに受験番号、氏名を記入してください。

受験番号		氏名	
------	--	----	--



次の場面の会話を読んで、後の問いに答えてください。

交通事故で入院していた高校3年生の根岸さんが、来週から3カ月ぶりに通学を再開します。桜木さん、石川さん、大船さんはクラスメイト。3人は担任の杉田先生から、放課後に教室で話があると呼ばれました。

桜木さん 話って何ですか、杉田先生。

杉田先生 今日のホームルームでも全員にお話ししたとおり、来週から根岸さんが帰ってきます。そこで以前から仲がいいあなたたち3人に、根岸さんのサポートをお願いしたいの。

石川さん 任せてください。私、入院中の根岸さんにも面会に行ったりして、学校の出来事などを話してきたんです。根岸さんも登校再開を楽しみにしていたから、私も彼女の力になりたいです。

杉田先生 ありがとう、助かるわ。

大船さん でも私は根岸さんとは、石川さんほど仲がよかったわけじゃないし。

杉田先生 大船さんにはこのクラスの保健委員として、クラスメイトに理解と協力も促してほしいの。

桜木さん 当分は車椅子を使うということですけど、私にできることってなんでしょう。

杉田先生 教室の移動が一番かしら。バリアフリーを考えて建築した校舎じゃないし、昇降口から教室までにも段差があるわ。エレベーターも来客や職員用の1基しかないの。それから定期的に検査とりハビリに通うから、遅刻か早退する授業があるの。その時の内容やわからないことも教えてあげてくれれば嬉しいな。

《杉田先生が去って、教室には生徒3人が残っています。》

桜木さん うーん……、正直言って、気が重いなあ。なんで私が根岸さんのお世話係なのかなあ。

石川さん お世話係なんて言ってないよ。桜木さんは根岸さんとは中学校からの友達だし、家も近所でしょ。一番頼りになると思われたんだよ。

桜木さん じゃあ朝から晩まで私が一緒にいなきゃならないってこと？ 絶対無理だあ。私って群れるの嫌いなタイプだし、友達も少ないし、石川さんみたいにみんなに愛される優しい性格じゃないし。

石川さん 登下校は根岸さんのお母さんかお父さんがしてくれるんだから、朝から晩までつききりのはずないよ。それにお家のかたも桜木さんがいてくれれば安心だと思う。私だって何でもできるとは思ってないよ。できることを分担すればいいんだよ。

大船さん 分担っていうけど、私には保健委員としての役割も来ちゃったのよ。なによ、クラスの理解と協力って。責任重大で気が重いわあ。杉田先生が自分でクラス全員に仕事を分担すれば公平なのに。

石川さん 大船さんは不公平だと思っているのね。桜木さんは自分には向いていないと思ってるの？

桜木さん 向いていないし、私も公平じゃないと思ってるよ。休み時間は寝たいし、宿題終わっていないこともあるし、部活は週5日あるし。担当者なんて決めると、担当じゃない人は丸投げしてしまうから、結局担当者だけに負担がかかるものなんだよ。

石川さん 確かにそうなる私たちがばかりが大変そう。じゃ、担当を決めなければいいのかな。

大船さん それじゃ他人事と思っちゃう人ばかりになりそう。だから全員に担当を割り当てればいいのよ。先生の言うクラスの理解と協力ってそういうことかもしれない。

- 桜木さん でもね……、全員に割り当てっていうのも、何だか違うような気がしてきた。文化祭の催し物の係を決めるのとは違うんだよね。そもそも私たちって何をしたらいいのか、まだよくわかっていないよね。
- 石川さん そうか、何をしてあげればいいのか知らないのに、私も大変そうって思い始めていたよ。根岸さんのサポートなのに、本人が何を必要としているかは、まだ直接聞いたことはない。(1) お見舞いに行った時も、自分からは何も言ってこなかったよ。移動の介助とかも先生が想像で言っていただけだと思う。
- 桜木さん それって人に面倒かけたくないって思ったからじゃない？ あの子、昔からそういうところあるから。そうか、それを聞き出すのも、彼女が話しやすい人がいいと思って、先生は私たち3人を選んだのかもしれない。先生が直接尋ねても、「大丈夫です」って答えてしまいそうな気がする。(2)
- 大船さん わかった！ 私たちはどんなサポートがあれば根岸さんが安心できるかを確かめて、それを私たちだけでしてあげるんじゃないで、内容ごとにメンバーを募ればいいんだよ。私たちはマネージャーになって、クラスメイトが選手になって動けばいい。私が授かったクラスの理解と協力を得るっていう仕事は、そういうことなんだね。(3) 全員で一致団結してやらなきゃ、なんて決め付けなくてもいいんだね。
- 石川さん 桜木さんが部活を休んでまで根岸さんのサポートを優先しなくても済みそうだね。自分のできる範囲でできることをする人がたくさんいれば、それが普通になっていくような気がする。(4) 関わらない人のほうが少数派になって、クラスが何らかの形で根岸さんをサポートしている雰囲気になるといいな。

- 問1 下線(1)の石川さんの発言。「根岸さんのサポートなのに、本人が何を必要としているかは、まだ直接聞いたことはない」とあります。想像や思い込みが強いと、良くない方向に推測が偏ることがあります。また対人援助の場面では、本当のニーズに応じた行動が取れないこともあります。決めつけないで相手の話を聞くことによって、相手もみなさん自身も良い結果が得られることを、具体的な経験を挙げながら、200～250字で説明してください。
- 問2 下線(2)の桜木さんの発言。「先生が直接尋ねても、『大丈夫です』って答えてしまいそうな気がする」と言っています。なぜ人は困っている時でも、相手によっては本当の気持ちを話せなくなるのでしょうか。また本心を打ち明けてもらうためには、どうしたらよいのでしょうか。あなたの考えを200～250字で記してください。
- 問3 下線(3)の大船さんの発言。「私が授かったクラスの理解と協力を得るっていう仕事は、そういうことなんだね」と言っています。集団が協調してひとつの目的に向かって行動するためには、リーダーとして何が必要でしょうか。大船さんの気付きからわかることを、200～250字で記してください。
- 問4 下線(4)の石川さんの発言。「自分のできる範囲でできることをする人がたくさんいれば、それが普通になっていくような気がする」とあります。最初は3人で根岸さんのお世話をするのは負担だと言っていた生徒たちですが、ここではそれが変わったことが伺えます。(4)の発言から、今はどのように捉えているかを、200～250字で説明してください。

